

図1 事故件数の年度別推移

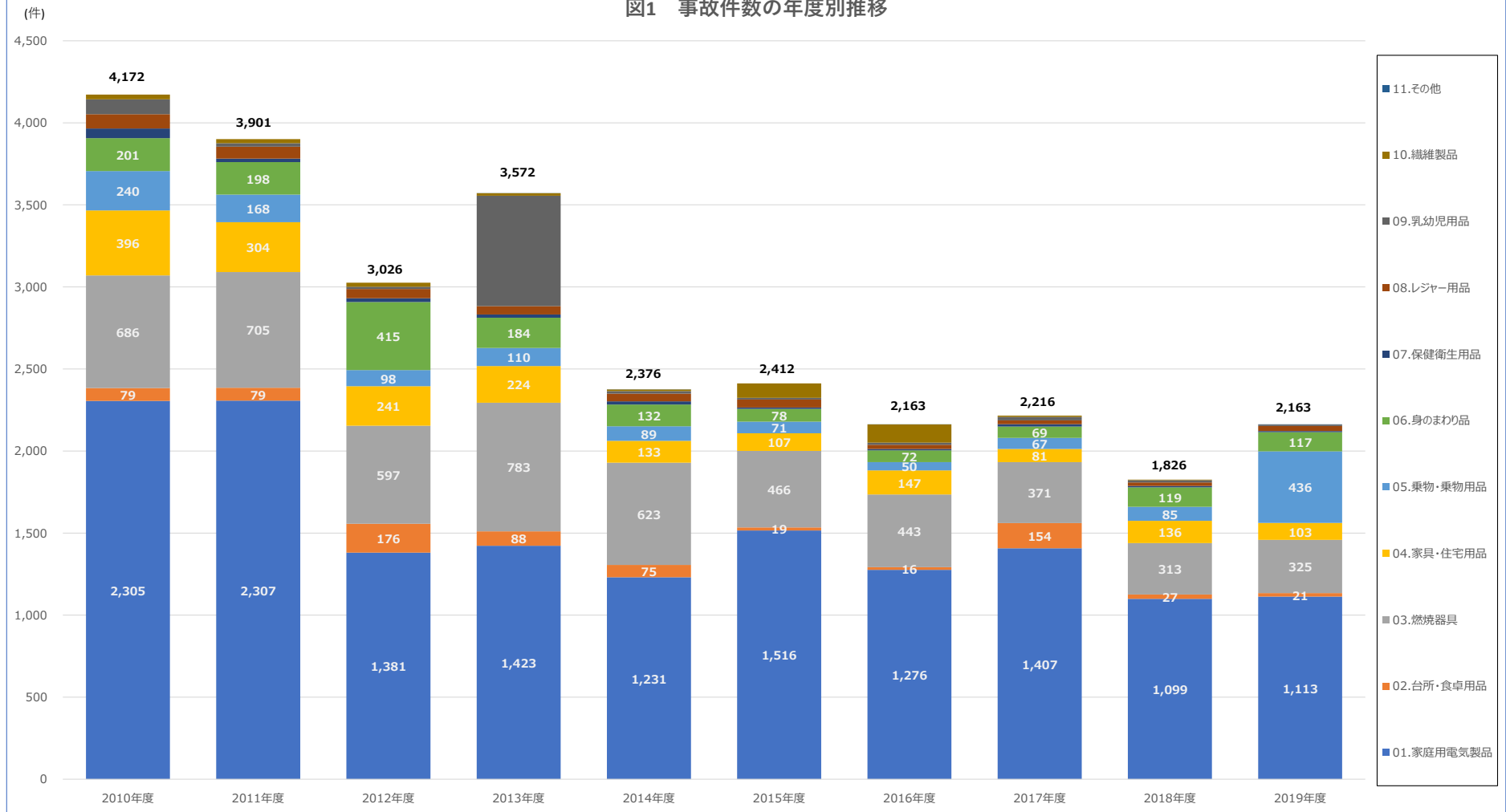


表2 製品区分別被害状況

2019年度

(件)

製品区分	被害状況			人的被害が発生した事故									物的被害が発生した事故						被害なし		
	合計			死亡			重傷			軽傷			拡大被害			製品破損					
01.家庭用電気製品	1,113	1,099	1,407	17	18	21	26	23	26	38	54	98	540	481	507	469	493	748	23	30	7
02.台所・食卓用品	21	27	154	0	0	0	9	0	2	7	8	9	1	14	0	2	5	143	2	0	0
03.燃焼器具	325	313	371	19	12	15	3	4	8	22	29	37	139	146	151	139	117	153	3	5	7
04.家具・住宅用品	103	136	81	7	5	6	39	34	25	31	46	32	4	8	0	21	43	12	1	0	6
05.乗物・乗物用品	436	85	67	4	5	3	341	36	30	77	14	16	12	5	7	1	25	11	1	0	0
06.身のまわり品	117	119	69	0	0	0	15	16	13	10	24	16	70	49	29	18	26	11	4	4	0
07.保健衛生用品	7	8	15	0	1	0	2	3	1	2	4	14	0	0	0	0	0	0	3	0	0
08.レジャー用品	31	22	23	1	0	0	8	7	1	9	9	8	8	4	4	3	2	10	2	0	0
09.乳幼児用品	8	13	21	0	2	1	3	2	3	2	7	3	0	0	0	3	0	14	0	2	0
10.繊維製品	0	4	8	0	0	0	0	1	1	0	2	5	0	1	0	0	0	1	0	0	1
11.その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,163	1,826	2,216	48	43	46	446	126	110	198	197	238	776	708	698	656	711	1,103	39	41	21

(注)

- 被害状況については、製品の問題の有無を問わずに見た件数である。
- 重傷とは、全治1カ月以上のけがを言う。
- 拡大被害は、製品以外に他の物的被害に及んだものを言う。
- 各欄内の数値は（2019年度、2018年度（青）、2017年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の被害状況を集計したものである。

表3 製品区分別事故原因

2019年度
(件)

事故原因 製品区分	調査が終了したもの												調査が終了したもの 小計	H：調査中のもの	合計																						
	非重大製品事故																																				
	重大製品事故	製品に起因する事故						製品に起因しない事故								原因不明																					
		A：専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの	B：製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	C：製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの	G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの	D：業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの	E：専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	F：その他製品に起因しないと考えられるもの	G1、G2：原因不明、調査不能のもの																												
2019年度		2018年度	2017年度	2019年度	2018年度	2017年度	2019年度	2018年度	2017年度	2019年度	2018年度	2017年度																									
01.家庭用電気製品	477	498	528	236	278	603	4	6	3	13	25	12	62	100	69	6	5	10	28	32	43	18	29	20	106	117	119	950	1,090	1,407	163	9	0	1,113	1,099	1,407	
02.台所・食卓用品	9	0	2	5	20	10	0	0	0	0	0	0	0	0	136	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6	5	6	20	27	154	1	0	0	21	27	154
03.燃焼器具	120	154	163	3	5	5	1	1	0	9	5	11	4	2	6	5	8	3	67	58	71	11	8	18	80	71	94	300	312	371	25	1	0	325	313	371	
04.家具・住宅用品	45	48	33	25	34	15	1	0	7	0	0	0	2	0	1	0	4	0	8	16	12	0	0	2	15	34	11	96	136	81	7	0	0	103	136	81	
05.乗物・乗物用品	235	47	44	33	21	2	12	2	0	0	0	0	12	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	18	12	18	311	84	67	125	1	0	436	85	67	
06.身のまわり品	35	37	26	22	19	5	0	0	0	0	0	0	24	23	11	0	0	0	0	3	4	1	6	4	16	27	19	98	115	69	19	4	0	117	119	69	
07.保健衛生用品	2	3	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	7	0	1	5	4	8	15	3	0	0	7	8	15	
08.レジャー用品	10	10	4	6	2	7	0	1	2	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1	1	1	2	0	1	2	7	7	25	21	23	6	1	0	31	22	23	
09.乳幼児用品	3	4	3	1	1	15	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	7	2	8	13	21	0	0	0	8	13	21	
10.繊維製品	0	2	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	4	8	0	0	0	0	4	8	
11.その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	
合計	938	803	805	331	380	669	18	10	12	22	30	23	111	126	224	11	17	13	106	113	132	34	49	55	243	282	283	1,814	1,810	2,216	349	16	0	2,163	1,826	2,216	

(注)

- 各欄内の数値は（2019年度、2018年度（青）、2017年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の事故原因を集計したものである。
- 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表4 事故原因区分別被害状況

2019年度
(件)

事故原因区分	被害状況			人的被害が発生した事故									物的被害が発生した事故						被害なし		
	合計			死亡			重傷			軽傷			拡大被害			製品破損					
重大製品事故	938	803	805	29	26	30	309	124	105	21	25	52	424	435	452	153	192	166	2	1	0
A：専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの	331	380	669	0	1	0	0	0	0	58	31	55	37	41	35	235	283	574	1	24	5
B：製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	18	10	12	0	0	0	0	0	0	13	4	7	3	1	0	2	4	5	0	1	0
C：製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの	22	30	23	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	7	3	17	22	19	0	1	0
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの	111	126	224	0	0	0	0	0	0	21	6	5	37	45	49	53	74	170	0	1	0
D：業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの	11	17	13	0	0	0	0	0	0	0	7	1	2	7	6	9	3	5	0	0	1
E：専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	106	113	132	1	0	3	1	0	0	18	29	28	49	48	65	34	36	29	3	0	7
F：その他製品に起因しないと考えられるもの	34	49	55	0	1	1	0	1	2	5	12	16	13	28	14	16	7	21	0	0	1
G1、G2：原因不明、調査不能のもの	243	282	283	12	15	12	3	0	3	56	83	73	84	92	74	84	84	114	4	8	7
調査が終了したもの 小計	1,814	1,810	2,216	42	43	46	313	125	110	192	197	238	654	704	698	603	705	1,103	10	36	21
H：調査中のもの	349	16	0	6	0	0	133	1	0	6	0	0	122	4	0	53	6	0	29	5	0
合計	2,163	1,826	2,216	48	43	46	446	126	110	198	197	238	776	708	698	656	711	1,103	39	41	21

(注)

- 各欄内の数値は（2019年度、2018年度（青）、2017年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき事故原因区分別の被害状況を集計したものである。
- 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表5 製品区分別再発防止措置等の実施状況

2019年度

(件)

(製品に起因する非重大製品事故)

製品区分	再発防止措置の実施状況			製品の交換、部品の交換、安全点検等を行ったもの			製品の製造、販売又は輸入を中止したもの			製品の改良、製造工程の改善、品質管理の強化等を行ったもの			表示の改善、取扱説明書の見直し等を行ったもの			政府、団体、事業者等の広報等により消費者に注意を喚起したもの			被害者への措置、損害賠償、製品交換等、個別的な措置			
	措置実施件数																					
01.家庭用電気製品	266	337	618	220	191	392	88	18	25	100	150	297	11	20	8	118	239	505	156	223	547	
02.台所・食卓用品	4	20	146	3	4	7	5	14	0	4	6	274	0	0	1	1	1	0	1	17	145	
03.燃焼器具	12	10	17	4	1	5	0	0	0	1	6	3	1	0	0	6	5	6	8	5	15	
04.家具・住宅用品	24	34	23	20	32	8	0	59	3	9	3	13	0	0	7	5	27	3	3	22	7	
05.乗物・乗物用品	54	24	2	2	19	1	1	18	1	6	23	1	0	0	0	53	4	1	6	23	2	
06.身のまわり品	12	30	9	7	8	5	0	9	0	5	21	4	0	6	1	3	10	6	6	22	6	
07.保健衛生用品	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
08.レジャー用品	8	3	9	4	0	4	6	0	4	6	1	11	0	2	5	2	0	6	2	0	6	
09.乳幼児用品	4	1	15	4	1	14	4	0	0	6	0	15	0	0	0	4	0	0	0	0	1	
10.繊維製品	0	0	5	0	0	3	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	3	
11.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	384	459	845	264	256	439	104	118	35	137	210	621	12	28	22	192	286	530	182	312	732	

(注)

1. 収集された事故に関して複数の措置が取られたものは、措置ごとに集計した。
2. 各欄内の数値は（2019年度、2018年度（青）、2017年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の再発防止措置等の実施状況を集計したものである。